

平成 29 年 10 月 15 日 宿泊・場づくりチーム

出席者:川口、深尾、豊原、梅景、木村、尾方、西峰、落合、大畑、井口

◆ふる博期間中に宿泊する場が少ないので、増やしていきたいよー。

①農家民泊やイベント民泊はどうか？



民泊の勉強会でしっかり勉強しよう！

②紀の川市にある宿泊先に泊まったことある？

(1) 観光で来たお客様に案内できるような施設になってる？



皆で手分けして宿泊して、実態調査も必要。

◆宿泊場づくりチームで、ふる博参加したらどうか？

①1枠無料にして！

②宿泊場づくりチームとして参加するなら、ただ単に連絡先を載せるのではなくて、企画を考えて、その企画に賛同してくれる宿泊先をお客さんに斡旋できるような形にしないと駄目。

→宿泊先と提携して、割引をお願いする

③ターゲットをどうするか？

→ふる博としてのターゲットはどこにある？

（ 前は、県内在住の女性が多かった。  
今回は 35,000 部から 30,000 部に減。  
県外の設置場所は、縮小傾向にある。 ）

★外国人観光客！！

いちご狩りなどは、大阪でもできる。

それよりもフルーツピッキングが大好きな外国人に絞ってみては？

④掲載方法

→パンフの企画枠の中は、英語表記も入れたい！

→パンフの表紙にも手に取ってもらえるように、少し英語表記を入れたい！

→お問い合わせ(今後、対応を考える)

英語での問い合わせなので、尾方さんをお願いする？

→Google 翻訳の使える形式に！

⑤企画

→日帰りじゃなく、宿泊してもらうにはどうするか？

宿泊しないと参加できない時間帯(朝とか夜とか)にしてはどうか？

★朝採りいちご🍓…別の企画にも参加できるように朝早くにする

◆その他の企画

・ふるふるトウクトウクで、複数の開催場所を周遊

→ロバに牽かせてみたら？→軽車両になるらしい

・サイクリング

・ウォーキング

・酵素ジュース